
ソナチネ

うとえ たくみ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ソナチネ

【Nコード】

N7645B

【作者名】

うとえ たくみ

【あらすじ】

シヨツピングモール『ソナチネ』で起こる不可思議な事件に巻き込まれる少女『里沙』意味の分からない者たちから逃げ、対決するうちに嫌な事実が浮き彫りに。

クマさん

揺れ落ちる午後の街には大勢の人が行き交っていても、どこことなくゆったりとした風が流れていた。

休日なだけあって、私の向かうショッピングモールは家族連れやカップルで賑わっていた。

ショッピングモールの名前は『ソナチネ』と言って駅に隣接して建っている。

私はこの一階にあるハンバーガーショップ『タルタロスバーガー』でアルバイトをしているのだ。

ソナチネの中央広場に着きの備え付けの時計を見ると16:11分を差していた。

バイトは17:00からだからまだ時間があるみたいだ。

私はベンチに座り、鞆から鏡を取り出し髪が乱れてないかを確認しつつ広場に備え付けられているテレビを観ている。

再放送のドラマが放映されていて、見入っているとCMが流れ現実にもどる。

「タツタル、タルタロスー。いつもー美味しいみんなのー。」

バイト先であるタルタロスバーガーのテーマソングをきいて、時計を見ると16:48分を指していた。

私はベンチから立ち上がりタルタロスバーガーへ向かおうと振り返ると、ヨタヨタとクマのきぐるみが歩いてきた。

何かとイベントなのかな、とみていると女の子が母親と一緒にクマへ近寄っていった。

しかし、クマは女の子の頭を撫でたりするわけではなく、抱っこするわけではなく、ただヨタヨタと歩いていた。

それでも構ってもらいたい女の子はクマの前に立ちふさがったが、クマはまるで女の子などいないかのようにヨタヨタと歩き、女の子

を突き飛ばした。

泣き出す女の子と困惑しつつクマに抗議する母親を尻目に私がクマの横をすり抜けた時だった。

靴を持つ二の腕に鋭い痛みが走る。

痛いっ！

腕からは血がたらたらと流れて手を伝い靴を汚していた。

バイト代で買った高いカバンなのに。

クマを睨みつけると大きく腕を振りかぶっていて、モコモコの茶色の手には輝くものが握られていた。

とっさに体をよじってかわすと、バランスが崩れ床に倒れてしまう。

周囲からは悲鳴が聞こえるけど、それどころではなかった。

ころされる？

と考えが頭をよぎると同時に私はクマの膝を思いっきり蹴り付けていた。

クマがぐらりと倒れたのと同時に私は立ち上がり逃げ出そうとするが足首を掴まれる。

それでバランスを崩しクマの腹に膝から倒れるとぐふっ、と呻き声がきこえて足首を掴む手はずれた。

私は恐怖で興奮しナイフを握るクマの手を何回も踏みつける。

放されたナイフを遠くに蹴るとくるくると回転していった。

「あんた、なんなの？ねえ！」

クマに詰め寄る。

しかし、クマはもう動かない。

死んじゃったのかな……？

不安になり声を掛ける。

「あの、大…丈夫ですか？」

いきなり下手にでる自分がおかしくて。

でも、クマは動かない。

周囲にはいつの間にか人だかりができていた。

私は意を決してクマの頭をとって素顔を確認しようとした。

頭はなかなかとれなくて、ねじりながらとるようにする。

人だかりが発するざわめきが止まり広場が静寂に包まれたのは頭をはずしてからワンテンポ遅れてからだだった。

頭のなかには何者いなかったからだ。

このクマはどうやって動いていたの？

静寂は絶叫に包まれて、私は両耳を押さえその場につづくまるしかなかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7645b/>

ソナチネ

2010年10月12日15時55分発行